

1 学年対象

Super Science Hightschool 講演会

探究的な学びにおける「思考力・判断力・表現力」と「非認知能力」の重要性の体験

京都光華女子大学副学長 谷本寛文先生

6月20日(木)7校時に京都光華女子大学副学長の谷本寛文先生をお招きしてSSH講演会を行いました。変化の激しい現代社会でどのような力が必要なのか、なぜ探究活動が重視されているのか説明して頂きました。また、詩の一部を考えるワークショップでは、仲間と話し合っ考える事や、正解を「知りたい」という人間の知的好奇心を体験する事ができました。放課後は職員を対象に研修を行って頂きましたが、そのときに出題された「詩のタイトル」を考える問題を下記に掲載しました。みなさんもチャレンジしてみてください。

認知能力 = 学力・知能

非認知能力 = 積極性・粘り強さ・リーダーシップ
自己肯定感・感情コントロール等

↑ 将来社会に出た時、人生の成功・豊かさにつながる力 ↑



ラーニング"ピラミット"
講義を受けるだけでは定着率5%



今未来手帳にメモする姿が板に付いてきました◎

【問題】この詩のタイトルは何でしょう？

ない	?
今が今 これらの草や木を	
草として	
木として	
こんなに栄えさせてくれている	
その肝心なものの姿が	
どうして ないのだろう	
と 気がつくこともできないほどに	
あつからんと	
こんなに消えているのか	
人間の視界からは	
いつも肝心かなめなものが	

* 答えは理科棟 2F 地学室前掲示板にて☆

外国では「自分の考えを持っていない事が恥ずかしいこと」だそうです。間違いを気にしたり周りと同じと考えたりせず、独創的に考えた上で周囲と協働していく事が非認知能力を育んでいくことに繋がっていきます。探究活動は非認知能力の育成に最適なのです。



詩「紙風船」で、高く高く打ち上げる「美しい」ものとは…？
話し合った結果「花火」が最多でしたが、正解は違っていました



積極的に手を挙げて堂々と受け答えることができました

< みんなのふりかえり >

今まで自分の認知能力に自信がなくてコンプレックスになっていたけれど、「非認知能力」が十分にあれば活躍できる事を知れて、とても自信がたった。(1組Tさん)

社会に出て求められるのは非認知能力と自分で探求できる力だとわかった。非認知能力は便利なツールで代替えることができないものだから高める必要がある。(2組Yさん)

「今自分に与えられているものは今自分に必要な試練だ」言葉が刺さった。今の苦しみはその能力を身につけるチャンスだと思えば、嫌な事も乗り切れると思った。(1組Iさん)

将来について考えるヒントがたくさん得られたので自分の進路や夢、願い事について前向きな気持ちになれた。(3組Uさん)

自分は今まで話を聞いたり、ワークを解いたりするだけで受動的だったけど、今度からは友達と教えてあったり、議論したりして主体的に取り組み、記憶力を定着させていきたいと思った。(5組Iさん)

紙風船とゴム風船を比較することで比較の大事さを知った。(6組Tさん)



自分と違う意見だからこそ拍手～